

企業に研究開発してほしい 未来の夢 アイデア・コンテスト

理工系学生のあなたへ

きっと社会を救える、理工系の力。



賞金総額
650万円!!

- 最優秀賞 50万円
- 優秀賞 30万円
- 優良賞 20万円
- (いずれも参加企業ごとに各1点)
- テクノルネサンス・ジャパン賞 10万円(5点程度)

理工系学生の皆さんは日ごろの研究のなかで、「企業の最先端技術があればこんなことができるかも」「こんな製品があれば未来はすてきになるはず」と思い描くことがあることでしょう。テクノ
ルネサンス・ジャパンは、そんなアイデアと企業の技術や事業を組み合わせたらどんな画期的なことができるかを考えるアイデア・コンテストです。参加企業の募集テーマと技術をもとに、「企業に研究開発してほしい未来の夢」をご提案ください。実証データは必要ありません。ぜひ、この機会にあなたの「夢」を「カタチ」にしてみましょう!

電気通信大学にて、 オリエンテーション開催!!

参加企業が事業や技術などを紹介し、アイデア応募のポイントを説明します。アイデアづくりの参考にしてください!! この機会にぜひ、いろいろな質問を参加企業にしてみましょう!!

日時 **6月30日(水)**
16:30~18:00
場所 **東5号館
241教室**

■プログラム

開催挨拶 産学官連携センター 産学官連携支援部門長 唐沢好男先生

日本経済新聞社による企画趣旨のご説明

参加企業による連続プレゼンテーション

質疑応答

お問い合わせ: 産学官連携センター(担当: 竹内)
TEL: 042-443-5785 mail: info-t@kikou.uec.ac.jp

参加企業

AsahiKASEI

From Information
to Value **QUICK**

住友化学

ThreeBond

'TORAY'
Innovation by Chemistry

muRata 村田製作所

コンテストについて
詳しくは

<http://nikkei-techno.jp/>

●お問い合わせ先: テクノルネサンス・ジャパン事務局 電話: 0120-58-8873 (土、日、祝日除く: 10:00~18:00) mail: info@nikkei-techno.jp

参加企業と募集テーマ

	「いのち」「くらし」を変える新素材 ～健康、環境と共存する社会の創出～	From Information to Value 	スマート・ユビキタスネット社会の 新たな経済情報サービスとは ～経済の動きを速く、正確に伝えるために、「いつでも、どこでも、誰でも」必要な情報にアクセスできるその手法・技術を提案してください～
旭化成の基本理念は「科学と英知による絶えざる革新で、人びとの“いのち”と“くらし”に貢献します」です。“いのち”とは“一人ひとりが健康で快適な生活を送ることができる社会”を示し、“くらし”とは“環境と共生しながら進化する社会”を示しており、この2つの社会の創出への貢献が旭化成の果たすべき責任と考えています。旭化成では、これまでリチウムイオン二次電池や電子コンパス、ウイルス除去フィルター「プラノバ」、大量水処理精密ろ過膜「マイクロザ」など、“いのち”と“くらし”に貢献し、世界をリードする事業群を生まし続けています。今回、皆さんには、旭化成が目指す「環境・エネルギー対応型事業」「健康・快適対応型事業」創出のための製品のアイデアを期待しています。固定観念にとらわれず、斬新な発想をお持ちの皆さんの応募をお待ちしています。	QUICKは、公正・中立な立場から、IT・通信技術を駆使した付加価値の高いマーケット情報を提供する専門企業として、日本の証券・金融市場の健全な発展を支える信頼性の高いインフラの役割を担ってきました。近年、超高速移動体通信などの情報通信技術（ICT）の革新で、「いつでも、どこでも、誰でも」必要な情報にアクセスできるスマート・ユビキタスネット社会が現実のものとなり、私たちのライフスタイルを大きく変えようとしています。スマートフォンが個人からビジネスシーンへと急速に普及、映像情報やアプリケーションも誰でも簡単に配信・検索でき、これらを活用した顧客サービスが次々と提供されていくでしょう。そこで、今後QUICKが提供すべき新たな情報サービスについて、これまでの常識にとらわれない斬新なアイデアを募集します。難しく考えず映像やゲームソフトなど皆さんの興味や関心のあること関連付けするなど、柔軟な発想で取り組んでください。		
	「創造的ハイブリッド・ケミストリー」 との出会い ～異なる技術の融合による新たな価値の創造～		スリーボンドにしかできないこと ～ボンドの次世代の姿へ～
地球環境を保全しながら、人々のより豊かな生活を実現するための鍵を握っているのは化学の力であると私たちは考えています。住友化学はその発祥から自社の利益のみならず、事業を通じて広く社会に貢献していくという考え方を大切にしてきました。この社会貢献は国内にとどまらず、例えば長期残効性防虫蚊帳「オリセット®ネット」のアフリカ・タンザニアでの現地生産を通じてWHOが進めるマラリア防圧作戦に貢献するなど、海外にも広がっています。当社は高機能・高品質で信頼性の高い製品をより環境に望ましい形で提供するため、「創造的ハイブリッド・ケミストリー」により、身の回りの快適な衣食住の実現から、地球規模の食糧問題、環境問題、資源・エネルギー問題の解決まで、積極果敢に挑戦し続けます。皆さんからの柔軟な発想と住友化学の独自技術とが会うことで、安全・環境・健康・品質により配慮した未来の製品が生まれることを期待しています。	スリーボンドはグローバルに展開している工業用シール剤・接着剤メーカーです。自動車産業を中心に電気・電子産業、インフラ産業など様々な分野に展開しています。最先端の「ものづくり」には、高機能なシール剤・接着剤が必要とされています。例えば低炭素化社会実現に必要なハイブリッド／電気自動車にはリチウムイオン電池用シール剤、クリーン発電には色素増感型太陽電池用シール剤、次世代照明として注目されるLEDにはウエハ研磨用仮固定剤、有機EL照明にはEL素子封止用接着剤など、エネルギーのロスを防ぐシール接着技術が求められています。今回のテクノリネサンス・ジャパンでは、スリーボンドの製品に「+α」の機能を付与させたボンドの次世代の姿を募集します。新たな試みとなる「スリーボンドにしかできないこと」に皆さんと取り組みます。あらゆる分野に技術革新を巻き起こす斬新なアイデアをお待ちしています。		
	21世紀を牽引する材料とは ～先端材料で地球環境問題を解決する 新商品・ソリューション大募集～	 村田製作所	センシング技術を駆使した 電子機器を大募集 ～あなたがつくる新しいインターフェース～
近年、「地球温暖化」「化石燃料の枯渇」「水資源の不足」「食糧不足」など、数多くの危機が顕在化しています。これらは、世界共通の深刻な問題であり、今や地球環境問題の解決を積極的に考えない企業は淘汰される時代になりました。例えば、東レでは現在、①省エネや地球温暖化の防止に役立つ、「衣料」「住宅関連」分野の新商品（ヒートテック®、断熱シートなど）、②炭素繊維を応用した、ライフサイクル全体で世界のCO₂削減に貢献する新商品（航空機・自動車の軽量化、風車など）、③水処理分離膜を応用した、温暖化、水資源問題、エネルギー確保、食料問題などへのソリューション（海水淡水化、バイオプラスチックなど）などの環境対応製品の研究開発をしています。これに限らず、皆さんの自由な発想で、地球環境問題を解決するために、あなたが東レで創り出した新商品・ソリューションを提案してください。		村田製作所は"Innovator in Electronics"をスローガンに、最先端の技術・製品を創出する総合電子部品メーカーです。携帯電話、PC、薄型テレビ、自動車など、身の回りのあらゆる機器で、ムラタの技術や製品が活躍しています。近年、私たちの生活はますます便利に進化しています。例えば人がいなくなると消えるテレビや、人がいるところだけに風を送るエアコン、人のわずかな動作で機能するこうしたインターフェースを可能にするのが「センシング技術」です。当社は、優れた技術開発、回路設計、ソフトウェア開発により、様々なセンシングデバイスを開発、販売しています。お客様のニーズをいち早くつかみ、センサ素子だけでなく、トータルソリューションを提供しています。今回皆さんから、センサ機能を使った新たなアプリケーションのアイデアを募集します。身の回りの生活のちょっとした備品から、地球規模の大きなものまで、自由な発想を期待しています！	
	企業に研究開発してほしい 未来の夢		【主催】 日本経済新聞社 【共催】 日経サイエンス 【後援】 文部科学省、独立行政法人国立高等専門学校機構、日本化学会、日本機械学会、日本工学会、高分子学会、電気学会（順不同） 【参加企業】 旭化成株式会社、株式会社QUICK、住友化学株式会社、株式会社スリーボンド、東レ株式会社、株式会社村田製作所 【協力】 秋田大学、茨城大学、岩手大学、宇都宮大学、愛媛大学、大阪大学、岡山大学、香川大学、鹿児島大学、金沢大学、関西大学、関西学院大学、北見工業大学、岐阜大学、九州工業大学、九州大学、京都工芸繊維大学、京都大学、熊本大学、群馬大学、慶應義塾大学、神戸大学、佐賀大学、静岡大学、芝浦工業大学、鳥根大学、信州大学、千葉大学、中央大学、筑波大学、電気通信大学、東京工業大学、東京大学、東京大学、東京都市大学、東京農工大学、東京理科大学、同志社大学、東北大学、徳島大学、鳥取大学、富山大学、豊橋技術科学大学、長岡技術科学大学、長崎大学、名古屋工業大学、名古屋大学、新潟大学、日本大学理工学部、弘前大学、広島大学、福井工業大学、福井大学、福島大学、北海道大学、三重大、室蘭工業大学、山形大学、山口大学、山梨大学、横浜国立大学、立命館大学、琉球大学、和歌山大学、早稲田大学（2010年5月14日現在）

応募概要

- 企画名**：「企業に研究開発してほしい未来の夢」アイデア・コンテスト（愛称：テクノリネサンス・ジャパン）
- 募集期間**：2010年6月1日～8月31日（必着）
- 参加資格**：大学生、修士課程・博士課程大学院生、高等専門学校生（3年生以上および専攻科）の個人またはチーム（チームは5名まで）。チームで応募する場合、チームリーダーが理工系学生であれば、文系学生の参加も自由です。
- 提案方法**：パワーポイント10枚以内でアイデアシートを制作してください。チームのアイデアが理解しやすいよう、図やイラストなどの添付は自由です。また、応募するアイデアに実証データやエビデンスは必要ありません。アイデアシートの他に、400字以内の要約を作成してください。要約シートのテンプレートは、公式Webサイト<http://nikkei-techno.jp/>からダウンロードできます。一度応募したアイデアシートは変更できません。
- 応募方法**：公式Webサイト<http://nikkei-techno.jp/>のエントリーページで必要事項をご記入の上、エントリーしてください。下記事務局宛に郵送またはe-mailでお送りください。お送りいただくものは、**<郵送の場合>**①アイデアシートのデータ ②プリントアウトしたアイデアシート：1部 ③要約シートのデータ ④プリントアウトした要約シート：1部の4点をお送りください。なお、①と③のデータは同一のメディア（フロッピーディスクやCD-Rなど）に保存していただいても結構です。
- <e-mailの場合>**①アイデアシートのデータ ②要約シートのデータをお送りください。なお、添付ファイルの総容量は5MB以内としてください。付属データなどでファイル数が5点以上になる場合は、念のためにフォルダにまとめて圧縮するか、2回に分けて送信してください（同じ件名の末尾に1/2、2/2をつけてください）。
- <郵送先>**〒101-0047東京都千代田区内神田2-2-1 鎌倉河岸ビル（株）日経リサーチ テクノリネサンス・ジャパン事務局「企業に研究開発してほしい未来の夢」アイデア・コンテスト係
- <e-mail送信先>**info@nikkei-techno.jp
- 審査期間**：2010年9月1日～12月上旬 ■**審査員**：参加企業各社の技術者・研究員
- 審査方法**：参加企業各社の技術者・研究員が、それぞれの募集テーマに対する応募アイデアを審査し、受賞アイデアを決定します。
 - 一次審査／書類選考 ●最終審査／プレゼンテーションと質疑応答※最終審査のプレゼンテーションと質疑応答は参加企業各社で実施します（チームで応募する場合の参加人数は2名まで）。※選考過程や結果へのお問い合わせにはお答えできません。※テクノリネサンス・ジャパン賞に応募する場合は、参加企業賞へのダブルエントリーも可能です（応募アイデア1件につき1社まで）。テクノリネサンス・ジャパン賞の審査委員長は東京工業大学の岡崎健生先生です。最終審査のプレゼンテーションと質疑応答は東京で開催する予定です。
- 結果発表**：2010年12月（日本経済新聞広告紙面および公式Webサイトにて）
- 表彰式**：2011年1月中旬（東京で開催）
- 賞金**：最優秀賞50万円、優秀賞30万円、優良賞20万円（いずれも参加企業ごとに各1点）、テクノリネサンス・ジャパン賞10万円（5点程度）

※エントリーの際にご記入いただいた個人情報は、本コンテストに関するご連絡のみに使用します。ただし、登録者の同意を得た場合のみ、情報開示に必要な個人情報を参加企業に提供することがあります。※応募するテーマは必ずオリジナルなものにしてください。どこの企業とも共同研究を開始していないものに限り、著作権は原則として各個人・チームに帰属しますが、企画運営に必要な範囲内において主催の日本経済新聞社に帰属する場合もあります。※技術・製品・サービスの開発にまで進展する場合は、関わる個人、高等専門学校・大学（研究室）、企業の協議によって、それぞれの権利を明確に規定してください。※応募されたアイデアは返却しませんが、提出物は複製していただきます。また、一度応募したアイデアシートは変更できません。応募を中止する場合は、テクノリネサンス・ジャパン事務局宛にご連絡ください。※本コンテストの入賞内容は2010年12月掲載予定の日本経済新聞広告紙面および2011年1月開催予定の表彰式で公表されます。同時に公式Webサイトでも公開します。特許法第29条には、「特許出願前に日本国内又は外国において公然知られた発明」は特許を受けられないと定められています。したがって、本コンテストへの応募内容と同等の技術によって特許を取得しようとする応募者は公表前に特許申請を行ってください。※応募内容が他者の知的所有権を侵害することがないように十分注意してください。他者の知的所有権の侵害によって問題が生じた場合は応募者の責任となります。